

※事務事業コード／ 0110040402

平成 24 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 図書館	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)		
会計	一般会計	款・項・目 100404図書館費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民の関与
事業名	02図書館運営事業		総合計画コード	3213		
目的 (成果)	図書館を利用する幅広い年齢層の住民に対し、生涯学習の中核施設として資料や情報の提供を行い、円滑に図書館を利用できるようにする。					
内容 (概要)	年間280日開館し、図書資料の受入れ、貸出し、各種団体活動の推進を図る。					

■事業費 (単位:円)

	平成22年度 決算			平成23年度 決算			平成24年度 予算			
事業内容	図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座			図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座			図書の貸出、図書検索情報提供、図書館協議会、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集及び表彰、夏休み一日図書館員体験講座			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金	1,113,000		
	市債			市債			市債			
	その他			その他	3,331,780		その他	3,020,000		
	一般財源	6,235,978		一般財源	6,141,302		一般財源	6,509,000		
計	6,235,978		計	9,473,082		計	10,642,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	01	報酬	90,000	01	報酬	135,000	01	報酬	158,000	
	07	賃金	106,910	07	賃金	3,333,000	07	賃金	4,450,000	
	08	報償費	242,946	08	報償費	231,000	08	報償費	231,000	
	11	需用費	622,632	11	需用費	349,775	11	需用費	619,000	
	12	役務費	118,210	12	役務費	97,117	12	役務費	127,000	
	13	委託料	545,580	13	委託料	825,090	13	委託料	546,000	
	14	使用料及び賃借料	4,422,600	14	使用料及び賃借料	4,422,600	14	使用料及び賃借料	4,423,000	
	19	負担金、補助及び交付金	79,500	19	負担金、補助及び交付金	79,500	19	負担金、補助及び交付金	80,000	
	27	公課費	7,600				27	公課費	8,000	
	決算額計	6,235,978		決算額計	9,473,082		予算現額計	10,642,000	0	
(参考)	H22当初予算額	6,232,000		H23当初予算額	9,519,000		伸び率(%) 対・決	12.3	対・予	11.8 +
人件費	職員人件費 2.6 人工	20,663,926		職員人件費 1.1 人工	8,798,306		職員人件費 1.1 人工	8,382,000		
総事業費	歳出+職員人件費	26,899,904		歳出+職員人件費	18,271,388		歳出+職員人件費	19,024,000		

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	開館日数	日	年間の本館開館日数	目標	280	280	280
				実績	278	281	
成果指標	図書蔵書数	冊	年度末における本館の図書資料蔵書数	目標	88,000	92,000	95,000
				実績	88,308	94,821	
	入館者数	人	年間の本館入館者数	目標	49,000	49,000	49,000
				実績	47,382	45,507	
登録者数	人	年度末における個人登録者数	目標	12,400	12,400	13,000	
			実績	11,910	12,487		

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

図書館本館及び千代田分館にて図書資料の貸出し、学習情報の提供を行うとともに読書活動の指導助言につとめ、生涯学習活動の推進を図る。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

入館者数を除き成果が得られた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

地域及び住民ニーズに応じた情報提供及び図書館サービスの充実を図りながら安心、安全に利用できる図書館運営にしていく必要がある。

■課題と対応方策

課題	図書館本館で視聴覚機器の盗難及び迷惑行為が行われたため、子供のみでも安心して利用できる環境にする。
次年度における対応方策(改善方策)	図書システムの構築及び防犯カメラ・ミラー設置・職員による館内巡回
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	図書館利用者の増大

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 高野利雄 担当課名 図書館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input checked="" type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	次年度は図書システム更新の時期で、新システム構築にあたり盗難防止に期待ができる。また、迷惑行為の防止については、定期的な館内巡視につとめ利用者が安心して閲覧できる体制を整備する。

二次評価【部長評価】	
部長名	小松崎 延明 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	多くの方が安心して利用できる図書館を目指す。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	図書蔵書数	冊	年度末における図書・視聴覚資料蔵書数	目標	122,500	122,500	126,000
				実績	118,173	125,479	
成果指標	図書購入予算額	千円	年度末における備品(図書・視聴覚資料)購入費	目標	5,179	5,069	5,950
				実績	5,179	5,069	
	図書貸出数	冊	年間の図書・視聴覚資料貸出冊数	目標	85,000	85,000	87,000
				実績	81,161	86,513	
成果指標	貸出人数	人	年間の図書・視聴覚資料貸出人数	目標	35,000	35,000	35,000
				実績	22,785	24,403	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

図書館本館及び千代田分館に図書・雑誌及び視聴覚資料を備えるとともに、予約・検索システムを活用し利用者の要求に応える。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】□

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

蔵書数については、知の地域づくり事業に伴い蔵書数の増加が図れた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

人気のある図書資料、視聴覚資料の選書により貸出人数の変化が期待できる。

■課題と対応方針

課題	限られた予算の中で、地域の実情及び住民のニーズに応じた選書が求められている。
次年度における対応方針(改善方針)	他の図書館と比較し設定数が少ない絵本、紙芝居、雑誌、コミック本等の種類を増やし、より親しみやすい図書館としていく。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	限られた配架書架であるので、社会情勢の変化を考慮した長期的な蔵書計画を策定する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 高野利雄 担当課名 図書館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	前年度に続き、利用者の要望にあわせた図書資料の整備につとめる。

二次評価【部長評価】

部長名	小松崎 延明	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		

地域の実情や市民ニーズに応じた選書が必要である。

※事務事業コード／ 0110040404

平成 24 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 図書館	事業年度期限	● 無 ○ 有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100404図書館費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民の関与	総合計画コード 3112
事業名	04ブックスタート事業						
目的 (成果)	子育て支援の一環として、生後4ヶ月児及びその保護者を対象に、赤ちゃんと絵本を介して心のきっかけづくりをする。						
内容 (概要)	4ヶ月児健診の際、民生委員児童委員(霞ヶ浦地区)、ボランティア(千代田地区)が本を読むことの大切さを説明し、絵本やアドバイス集をパックにして参加者へ提供する。						

■事業費 (単位:円)

	平成22年度 決算			平成23年度 決算			平成24年度 予算		
事業内容	絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布			絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布			絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布		
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金		
	県支出金			県支出金			県支出金		
	市債			市債			市債		
	その他			その他			その他		
	一般財源	357,370		一般財源	360,030		一般財源	361,000	
計	357,370		計	360,030		計	361,000		
歳出内訳	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	うち臨時分		
	11 需用費	357,370	11 需用費	360,030	11 需用費	361,000			
	12 役務費	0	12 役務費	0					
	決算額計	357,370	決算額計	360,030	予算現額計	361,000	0		
(参考)	H22当初予算額	364,000	H23当初予算額	366,000	伸び率(%) 対・決	0.3	対・予	-1.4	
人件費	職員人件費 0.5 人工	3,973,832	職員人件費 0.4 人工	3,199,384	職員人件費 0.4 人工		3,048,000		
総事業費	歳出+職員人件費	4,331,202	歳出+職員人件費	3,559,414	歳出+職員人件費		3,409,000		

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	ブックスタート対象者数	組	ブックスタート事業の対象者となる4ヶ月児及びその保護者	目標	420	400	400
				実績	371	403	
成果指標	ブックスタート実施回数	回	年間のブックスタート事業実施回数	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標	ブックスタート事業参加者数	組	ブックスタート事業に参加した4ヶ月児及びその保護者	目標	390	330	330
				実績	343	321	
成果指標	ブックスタートパック最終受取者数	組	最終的なスタートパック受取者数	目標	400	400	400
				実績	344	321	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

現代社会において希薄となりがちな保護者と子供との関係を強化するとともに、絵本を介し心安らぐ子育てを支援し、読書の動機付けを図り生涯学習活動の足がかりとする。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

4ヶ月児健診の際に実施しているので参加率が高くまた、民生委員児童委員等が個別に対応しているため子育ての相談にも応じている。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

今後も、民生委員児童委員・ボランティアの協力を得て実施していきたい。

■課題と対応方策

課題	図書カード登録者が少なく、図書館の利用とが結びついていない。
次年度における対応方策(改善方策)	ブックスタート事業協力者に参加者に対し図書館利用をPRしてもらう。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	対象者の保護者に対しこの事業の持つ目的や大切さをPRし、絵本の配布事業に終わらないようにする。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 高野利雄 担当課名 図書館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	一人ひとりの赤ちゃんに絵本を開くことで、だれもが楽しく、赤ちゃんとゆっくり心触れ合うひとときをつくる事業で、引き続き取り組むこととする。

二次評価【部長評価】

部長名	小松崎 延明	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	本を媒介にした子育て支援の事業であるが、事業を通して保護者への図書館利用の促進を図る。		

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	団体貸出件数	件	1団体200冊までを限度に2ヶ月間の貸出件数	目標実績		100	
	視聴覚機器の利用回数	回	図書館内の視聴覚コーナーの利用回数	目標実績		350	
成果指標	団体貸出冊数	冊	1団体200冊までを限度に2ヶ月間の貸出件数	目標実績		2,500	
	視聴覚資料の貸出件数	件	視聴覚資料の貸出件数	目標実績		2,180	
						2,500	
						3,263	
						7,000	
						6,976	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

図書館資料の更新ができた。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

市内各小中学校の要望を取り入れたことにより概ね達成できた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

団体貸付が市内各小中学校及び幼稚園、保育所等であるため学校図書館との連携が強化され

■課題と対応方策

課題	単年度事業のため、次年度以降の団体貸付件数が減る可能性がある。
次年度における対応方策(改善方策)	各種団体等への図書資料の団体貸出の促進を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	図書館関係の交付金がある場合には、図書資料の購入や図書館システムの改修を行い、利用改善に努めたい。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 高野利雄 担当課名 図書館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	事業財源が地域活性化交付金(平成22年度閣議決定)であることから、24年度以降について見通しが立っていない。

二次評価【部長評価】	
部長名	小松崎 延明 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	今後、事業補助があれば積極的に活用する。

※事務事業コード／ 0111040206

平成 24 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 図書館	事業年度期限	○ 無 ● 有(平成 年度～平成 23 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 110402社会教育施設災害復旧費	新規／継続 (事業区分1)	新規	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	06図書館施設災害復旧事業						
目的 (成果)	東日本大震災に伴う、社会教育施設の災害復旧事業						
内容 (概要)	図書館の閉架書架電動可動棚及びレール修繕						

■事業費 (単位:円)

		平成22年度 決算		平成23年度 決算		平成24年度 予算				
事業内容			災害復旧修繕工事(電動式移動書架)					【特記事項】		
	財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金				
		県支出金		県支出金		県支出金				
		市債		市債		市債				
		その他		その他		その他				
		一般財源	0	一般財源	472,500	一般財源	0			
計		0	計	472,500	計	0				
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
				11	需用費	472,500				
		決算額計		0	決算額計		472,500	予算現額計		0
(参考)	H22当初予算額		0	H23当初予算額		0	伸び率(%) 対・決 皆減	対・予		+
人件費	職員人件費 人工		0	職員人件費 人工		0	職員人件費 人工		0	0
総事業費	歳出+職員人件費		0	歳出+職員人件費		472,500	歳出+職員人件費		0	0

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成22年度	平成23年度	平成24年度
活動指標	災害復旧事業	件	閉架書架の電動書架修繕工事	目標			1
				実績			1
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
目標達成状況の点検	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	
次年度における対応方策(改善方策)	
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	館長 高野 利雄
担当課名	図書館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止 (年後を目処) <input checked="" type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

■二次評価【部長評価】

部長名	小松崎 延明	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
今後の災害に対応できるよう館内設備等の整備を検討する必要がある			